

集中講義に参加される皆さん、一緒に学べるのを楽しみにしております。特に、三日間、同じテーマを巡っていくなかで、神学することの喜びも皆で共有できたらと思っております。



講師プロフィール

1939年 鹿児島県生まれ。西南学院大学神学部を卒業後、九州大学院で滝沢克己教授に師事。その後ボン大学に留学、同大学院博士課程修了。九州大学教授、西南学院大学教授として奉職後、西南学院長、理事長2012年まで歴任。現在は福岡女学院長。九州大学名誉教授、西南学院名誉顧問、福岡城西キリスト教会協力牧師。

間もなく受講申し込み開始
キリスト教倫理

2015年8月13日(木)～15日(土)

場所：日本バプテスト連盟事務所3階会議室

講師：寺園喜基 先生

参加費 本科生：受講料 12,500円＋共益費5,000円＝17,500円
聴講生（及び一般の方）：受講料 15,000円
＊通信は＋5,000円（通信手数料）

2015年度「夏期公開講座」はキリスト教倫理。「教会と国家」について、カール・バルトの著書からドイツ教会闘争を手掛かりに講義をしていただきます。今日の私たちにとりまして切迫した問題に、私たちキリスト者は、そして教会は「国家」についてどのようにかかわっていくべきなのでしょう。神の前にもどのように生活すべきかを神の言葉である聖書から聞き、私たちの信仰が単なる思想で終わらないようにしっかりと「キリスト教倫理」を学びましょう。

2015年度後期公開講座のご案内

教会学校論

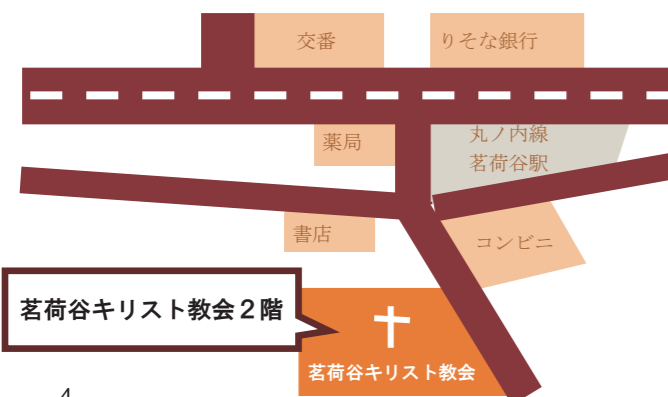
<プログラム>

- I. 教会学校の基礎を学ぶ
- II. バプテストのアイデンティティと教会学校
- III. 教会学校の実際
- IV. 未来を拓く教会学校～現代の諸問題と教会学校

担当講師チーム

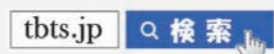
- 坂元幸子（藤沢バプテスト教会牧師）
- 中田義直（市川大野キリスト教会牧師）
- 矢野由美（千葉バプテスト教会教育主事）

10月開講の「教会学校論」では、教会学校の意義と意味を「聖書」と「教会の歴史」から改めて確認します。そして、各教会の取り組みを分かち合いながら、互いに励まし合い、祈りあう奉仕者同士の良き交わりの機会となるような「学びの場」としたいと思います。教会学校の奉仕者をはじめ、教会の責任を担う執事・役員、そして、教役者の方々もバプテスト教会の重要な働きである、教会学校について一緒に学びましょう。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内
TEL: 03-3947-5141 FAX: 03-3947-5145
E-mail: seminary@tbts.jp



地下鉄丸の内線茗荷谷（みょうがだに）駅下車1分
駐車場の用意はありません。車での来校はご遠慮ください



東京バプテスト神学校ニュース

Tokyo Baptist Theological Seminary news
〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 ☎03-3947-5141 メール seminary@tbts.jp

今号のトピックス

1,2P 教室取得問題 入学式 2P 神学生の紹介 3P 事務長交代 4P 夏期公開講座案内 連続公開講座案内

神学校の教室確保についてお祈りくださり感謝申し上げます。
途中経過をご報告申し上げます。

理事長 奥田 稔

東京バプテスト神学校は茗荷谷キリスト教会の施設を1997年以来教室としてお借りし、神学校の働きを続けてきました。ところがご承知の通り茗荷谷キリスト教会から神学校の施設提供は2017年3月をもって終了にするとの連絡をいただきました。神学校は直ちに「教室取得問題検討委員会」を設置し、その善後策を立てました。第一には継続して茗荷谷キリスト教会の施設を2017年以降も使用させていただくことを茗荷谷キリスト教会に申し入れることにしました。それは通学する学生にとりましても、授業を担当する教師にとりましても交通の便がよく、立地的に恵まれているからです。また第一の案が受け入れられない場合は第二、第三と教室確保のための案を策定いたしました。

「教室取得問題検討委員会」3案立案後、ただちに第一案で

茗荷谷キリスト教会との折衝にあたってきました。茗荷谷キリスト教会の神学校施設提供終了は2012年3月の教会総会で決議されたもので、神学校からの施設提供申し入れには慎重にならざるを得なかったのだと思います。昨年6月、そして今年の3月に話し合いの時をもちましたが、その可能性についてまで話しは進みませんでした。しかし、今年5月に行われました話し合いにおいては、これからお互いに考え、計画を密に交換し、その可能性について話し合っていくことを確認いたしましたのでご報告申し上げます。

神学校事務局には多くの方から「教室のために捧げます。」「教室問題が解決されますようにお祈りしています。」と励ましの連絡をいただき、とても心強く感謝申し上げます。今後とも覚えてお祈りくださいますようお願い申し上げます。

2015年度前期の入学礼拝が9名の新入学生を迎えて行われました。



2015年度の入学礼拝が4月3日（金）午後7時から茗荷谷キリスト教会で行われました。今年の本科学入生の中根浄兄（花小金井キリスト教会）は「信徒リーダー養成コース」を終了し、新たに「本科」に入学し学びを続けられます。また、山中弘次兄（西川口キリスト教会）は「聴講」から「本科」に入学です。また本科に李九兄（東海伝道所）、久米麗姉（多摩川キリスト教会）の他2名の聴講生が入学。

信徒リーダー養成コースに新田裕子姉（西川口キリスト教会）、植木ひとみ姉（相模中央キリスト教会）の2名。教会音楽科に1名の聴講生、計9名の新入学生が与えられました。入学礼拝では連盟常務理事、吉高叶先生から熱のこもった祝辞、また神奈川県地方連合会長の坂元幸子先生からの祝辞に新入学生のみならず出席者全員心燃やされ、恵み豊かな入学礼拝となりました。

2015年前期の入学生のみなさんをご紹介します



新田裕子

西川口キリスト教会

受浸教会：西川口キリスト教会
教会での奉仕→信徒執事、教会学校ジュニア科科長、
小学生クラス担当、聖歌隊、

神様のめぐみと祈りに支えられて、神学校への道が開かれました。子供も巣立ち、新しく与えられた時間を、自分のためにも使うことに決めました。

現在、信徒リーダー育成コースで学んでいます。信仰生活の早いころから、執事のご奉仕が与えられ、いつも、肉の常識と、霊の常識に悩んでいました。今、神学校の机の上で、一つ一つ霊の常識の意味と背景を学び、一つ一つ「なるほど！ そうなんだ」と納得している最中です。的外れな質問をして、他の方々へご迷惑をかけることも多々ありますが、皆さんいろんなアドバイスして下さいます。先生とクラスメイト(?)の方々に教えていただき、信仰生活の基礎固めに楽しく励んでいるところです。



山中弘次

西川口キリスト教会

2001年6月に西川口で受浸しました。聖歌隊、財務執事、教会学校聖書リーダーのご奉仕をやらせていただいています。神学校へ入学したのは、聖書を学びたいと思ったからです。私は、40歳のときに教会に通い始めました。理科系人間である私には、例えば聖書の奇蹟物語を読んで、その奥に語られている真実に触れるためには、時代や文化の壁を越えるガイドが必要なようです。パレスチナやその周辺地域の地理と歴史、ギリシア語、ヘブル語、ユダヤ教を学び、できる限りイエス様が地上で生きられた時代の普通の人々の感性や感覚を持って、聖書の記述を感じ取りたいと願っています。私は既に2012年度から聴講生として学びを続けてきました。一緒に学ぶ皆さんとのディスカッションや交わりをとっても楽しんでます。



李 九(イク)

東海伝道所

受信教会；韓国ダブシップリカトリック教会
常に主を覚えあなたの道を歩け

主の御名を讃美します。韓国から去年(2014年4月)参りました。マタイによる福音書28章18-20の大宣教命令に従って日本人伝道のために来ました。今は東海伝道所にて奉仕しながら日本教会を学んでいます。珍しい事なんですけど青年の時(1991年頃)、日本での1年程の暮らしの中でイエス様を人格的に経験する事がありまして、中学校1年以来、ずっと、教会を離れていましたが神様の憐れみ深い愛の中で立ち帰ることができました。そして、その素晴らしい経験は神様の導きの中で日本を宣教地として抱かせるように発展しました。主イエスにおいて日本を愛し、また良く理解して働きたいです。日本人をも、生活方式をも、教会をもちやんと学びたいですが、なにより、日本の方々が今の現在を生活している神学(信仰)を学びたいです。新しい事が今や、芽生えているの信じます。東京バプテスト神学校の学びを通して、もっと、深く、広くイエス様を知り、それに従って日本人と日本教会を知る希望に溢れています。



中根浄兄

花小金井キリスト教会

受浸教会：長崎バプテスト教会
教会での奉仕：教会学校成人科教師
高校時代にバプテストを受けて長年クリスチャン生活を過ごしてきましたが、6年前に妻が重い病気になり召された時、自らの信仰のもろさを感じました。自分は何を信じていたのだろうか？と。そうだ、もう一度信仰の原点に戻り聖書を学び直そうと思い立ちました。そこで、本学の「信徒リーダーコース」に入学し、この度修了となりました。学べば学ぶほど、聖書の世界、信仰の原点をもっと広く深く知りたいとの思いで本科に進学しました。そして、自らの信仰を見つめつつ、学びの応答として、高齢者とは信仰による希望を分かち合い、新来者・求道者には、聖書が身近な書になるように、聖書をもっと分かりやすく語る者になりたいと思っています。



久米麗

多摩川キリスト教会

受信教会；多摩川キリスト教会
奉仕：執事、CS教師

私は5年前に多摩川キリスト教会で救われ、主の恵みの中で教会のビジョンである「リバイバルと世界宣教」のため主に召し出されたと信じ、教会に仕え、牧師先生に仕え、主の時が来たら宣教師として遣わされたいとの思いが与えられ献身へと導かれました。

授業と共に献身の道が始まり己の霊肉の貧しさを覚える日々です。体力的にまた学びの中でこんな貧しく何も無い者が主の御用ができるのかと己を見ると信仰はきません。しかし、御言葉にあるように主はあえて無力な者を選び栄光を現されるとあるように、己の弱さと限界に留まらずこの空の器を全く主に委ね聖霊さまに明け渡し続けていく事が献身なのかもしれないと思わされております。教会の祈り、沢山の兄弟の祈りに支えられていることを感謝します、この小さく貧しい者を覚えお祈り頂ければ幸いです。



植木ひとみ

相模中央キリスト教会

受洗教会：相模中央キリスト教会
教会奉仕：会計監査、墨書(説教題)、受付、教勢報告集計

昨年後期より神学入門を受講し神学校の学びに触れさせて頂きました。努力と勉強の嫌いな私が神学校で学ぶなど今考えても不思議な気がします。しかし、きっかけはありました。例えば教会学校に出席するようになり、もっと深く神様の事を知りたいと思ったことや、クリスチャンで無い友人の問いにきちんと答えたいなど幾つかの思いはありましたが、特別な信念をもって受講したわけではありませんでした。ところが、解らないながらも、ワクワクした楽しい時を過ごすことが出来ました。私にとってレポート提出という難関はありますが、与えられた学びの時を大切にしていきたいと思えます。何事にも時があり天の下の出来事にはすべて定められた時がある。コヘレト3-1

村中範光先生、新事務長に

村中先生は今年3月まで日立バプテスト教会の牧師として働いておりましたが、その働きを終えて4月から東京バプテスト神学校の事務長の働きを担っていただくことになりました。



村中先生は大久保バプテスト教会で保田井建牧師に信仰に導かれバプテストを受けられ、その後、主の召しを感じベルリン神学大学に入学。卒業後はドイツで牧師資格を取得し、ドイツルター教会の牧師として働いておりましたが、日本での福音宣教の働きが示され、1983年に帰国。日本の教会での働きのため保田井先生の勧めにより西南学院大学神学部専攻科に入学。翌年専攻科の学びを修了し、渋谷バプテスト教会の牧師に就任。その後市川大野伝道所、東京第一バプテスト教会の牧師を経て2008年に日立バプテスト教会の牧師として働いておられました。

先生はドイツ語、ギリシャ語、ヘブライ語をはじめ、ラテン語など語学や、広く神学を学んでこられましたので、学生の皆さんのよき相談者となってくれることでしょう。

事務長職をバトンタッチします



2012年4月に川口通治前事務長から受けて3年間握って走ったバトンをこのたび村中範光次期事務長に引き継ぎました。この3年間受講生の皆様をはじめ教師や理事や卒業生の方々との新たなお交わりを頂きましたことは神様からのありがたいプレゼントと思っております。また伝道が難しい時代に神学校の果たすべき役割が増々重要になる中で、事務局業務は大変なこともあります。それ故にとっても大切な仕事であることを深く知ることができました。そして業務に携わりましたこと感謝申し上げます。幸いにも、村中事務長は、東バプ教師としてまた牧師として経験豊かな先生ですので安心してバトンタッチをしました。今後3地方連合の諸教会をはじめ、全国の諸教会の信徒が一人でも多く神学校で学ばれ、日本の福音宣教の業が大胆に進められますことを祈らせて頂きます。